

ライチ便り No. 41

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2019年2月号～
<http://lychee-club.jp/>

梅、菜の花、こぶしの花と次々に春を告げる花が咲き、そろそろ桜の出番です。

日本では4月から新事業年度が始まりますので、この時期はどの団体でも会社でも決算や新年度予算、事業計画、人事異動もあり…大変な時期です。学校も試験の時期ですし、新学期に向けて大忙し。花に浮かれている暇はありませんね。でも、ゆとりを失っては逆効果。たまには一息入れて、ライチ便りでもご覧あれ。

「福岡広州友誼の歌」を練習しています

友誼の歌？ ご存知の人はあまりいないかもしれません。

40年前、友好都市の調印に来福された広州市代表団が記念に持ってこられ、団員の歌手楊文秀さんが披露してくださったのが「木綿とさくら」という歌で、そのお返しに福岡側が作ったのが「福岡広州友誼の歌」(大塚基博作詞、安永武一郎作曲)です。これは当時広州日報でも紹介されました。

1981年には、パンダ受け入れに通訳としてご協力くださった青木麗子さんの歌でLPレコードもできていたのですが、いつしか散逸し、歌を知っている人も殆どいなくなりました。

今年友好都市締結40周年を迎えるにあたり、是非皆で歌いたいと思ひ立ち、かろうじて残っている楽譜を二部合唱に編曲してもらいました。現在、当倶楽部の団体会員である福岡市女性翼の会の有志を募って練習を繰り返しているところです。祝いの場面でご披露したいと頑張っていますので、どうぞご期待ください。



久保田先生のピアノと指導で

広州大学の学生がまたやってきます

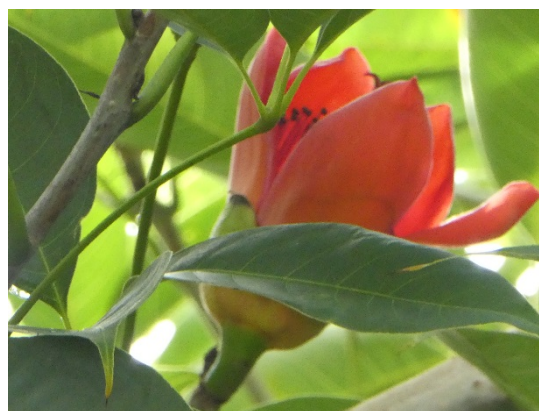
春暉国際学院では広州大学と交流協定を結んで、毎年春と秋の2回、広州大学の日本語学生を研修に受け入れています。当倶楽部では、昨年秋から交流プログラムを作って、より深い福岡体験活動に招待しています。

今回は18人が4月8日から5月10日までの予定で来日されるとのことで、目下ホームビジットやバスハイクなどを計画中です。ちょうどドンタクのシーズンでもありますので、日程が合えばドンタクパレードを体験してもらうのも、いい思い出づくりになると提案しているところです。

詳細はこれから組み立てていきます。またご案内しますので、お都合のつく方は是非広州の学生と交流してください。みな日本語を勉強中なので、話したがっています！

木綿の花が咲きました

福岡市植物園の温室には、広州市から贈られた広州市の花「木綿（きわた）」があって、毎年花をつけます。近所にお住まいの伊藤友子さんが毎年開花情報を画像と一緒に寄せくださるのです。この木は必ず周囲の木々や建物より背が高くなるので「英雄樹」という愛称があるそうです。広州では3月頃約1ヶ月にわたって咲き続け、街に春を告げます。



総会は4月22日に行います

先日行った役員会で、新年度の年次総会を4月22日（月）に行うことを決めました。会場は天神スカイホールです。詳しいことは別途ご案内しますので、どうぞご出席ください。

* 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。

* 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円

* 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。

連絡先：y-chiba@lychee-club.jp